

沖繩・砂川闘争に全戦線から進撃を開始

秋期連続闘争の前段を打ち抜く

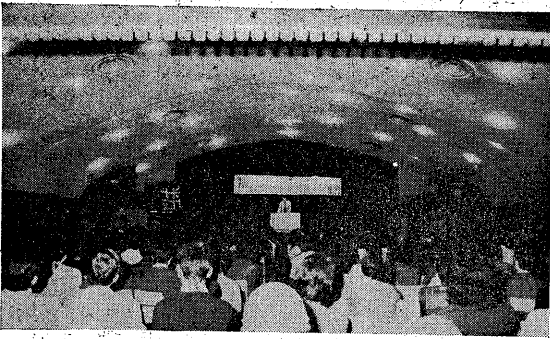
一〇・一五首都圏反帝戦線総決起集会 五〇〇名で貫徹

【本報東京十七日電】首都圏反帝戦線は、秋期連続闘争の前段を打ち抜くため、十七日午後七時、赤坂区立大ホールで「一〇・一五首都圏反帝戦線総決起集会」を開き、五〇〇名が参加して、激しい討論と演説が行われた。

この集会は、戦線本部の呼びかけで、各界の有志者が大勢参加した。開会式では、戦線本部の代表者が、現在の戦況と今後の闘争の方向性を述べ、参加者から熱い拍手が送られた。

討論では、戦況の激化、戦線本部の活動、各地の闘争の展開などが中心で、参加者は、戦況の激化を憂い、戦線本部の活動を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加する決意を述べた。

閉会式では、戦線本部の代表者が、参加者の決意を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加するよう呼びかけた。集会は、熱い雰囲気の中で閉幕した。



四谷公論堂を庄園的にうめた500の戦闘的同志

【本報東京十七日電】首都圏反帝戦線は、秋期連続闘争の前段を打ち抜くため、十七日午後七時、赤坂区立大ホールで「一〇・一五首都圏反帝戦線総決起集会」を開き、五〇〇名が参加して、激しい討論と演説が行われた。

この集会は、戦線本部の呼びかけで、各界の有志者が大勢参加した。開会式では、戦線本部の代表者が、現在の戦況と今後の闘争の方向性を述べ、参加者から熱い拍手が送られた。

討論では、戦況の激化、戦線本部の活動、各地の闘争の展開などが中心で、参加者は、戦況の激化を憂い、戦線本部の活動を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加する決意を述べた。

閉会式では、戦線本部の代表者が、参加者の決意を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加するよう呼びかけた。集会は、熱い雰囲気の中で閉幕した。

沖繩返還協定批准実力阻止 立川基地自衛隊進駐実力阻止へ向け

闘う戦線の拡大強化を推進せよ

三里塚・砂川行動戦線の結成に向け

早大理工に登場

西部地区反帝戦線 早大理工

【本報東京十七日電】沖繩返還協定の批准を阻止し、立川基地の自衛隊進駐を阻止するために、三里塚・砂川行動戦線の結成に向け、早稲田大学理工学部で「西部地区反帝戦線」の結成集会が開かれた。

この集会は、早大理工の有志者が中心となり、西部地区の戦況と今後の闘争の方向性を話し合った。参加者は、戦況の激化を憂い、戦線本部の活動を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加する決意を述べた。

集会では、戦況の激化、戦線本部の活動、各地の闘争の展開などが中心で、参加者は、戦況の激化を憂い、戦線本部の活動を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加する決意を述べた。

進駐実力阻止へ新局面を拓く

一〇・一七立川基地自衛隊進駐阻止闘争

【本報東京十七日電】立川基地の自衛隊進駐を阻止するために、一〇月十七日、立川基地周辺で「立川基地自衛隊進駐阻止闘争」が開かれた。

この闘争は、立川基地周辺の住民が中心となり、自衛隊の進駐を阻止するために、激しい闘争が行われた。参加者は、戦況の激化を憂い、戦線本部の活動を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加する決意を述べた。

闘争では、戦況の激化、戦線本部の活動、各地の闘争の展開などが中心で、参加者は、戦況の激化を憂い、戦線本部の活動を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加する決意を述べた。

さらぎ派の登場を許さず

秋期闘争へ圧倒的に決起

南部地区反帝戦線

【本報東京十七日電】秋期連続闘争の前段を打ち抜くため、南部地区反帝戦線は、十七日午後七時、赤坂区立大ホールで「一〇・一五首都圏反帝戦線総決起集会」を開き、五〇〇名が参加して、激しい討論と演説が行われた。

この集会は、戦線本部の呼びかけで、各界の有志者が大勢参加した。開会式では、戦線本部の代表者が、現在の戦況と今後の闘争の方向性を述べ、参加者から熱い拍手が送られた。

討論では、戦況の激化、戦線本部の活動、各地の闘争の展開などが中心で、参加者は、戦況の激化を憂い、戦線本部の活動を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加する決意を述べた。

閉会式では、戦線本部の代表者が、参加者の決意を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加するよう呼びかけた。集会は、熱い雰囲気の中で閉幕した。

第四次中大闘争を領導し

沖繩・砂川闘争へ進撃

中部地区反帝戦線 早大理工

【本報東京十七日電】第四次中大闘争を領導し、沖繩・砂川闘争へ進撃するために、中部地区反帝戦線は、十七日午後七時、赤坂区立大ホールで「一〇・一五首都圏反帝戦線総決起集会」を開き、五〇〇名が参加して、激しい討論と演説が行われた。

この集会は、戦線本部の呼びかけで、各界の有志者が大勢参加した。開会式では、戦線本部の代表者が、現在の戦況と今後の闘争の方向性を述べ、参加者から熱い拍手が送られた。

討論では、戦況の激化、戦線本部の活動、各地の闘争の展開などが中心で、参加者は、戦況の激化を憂い、戦線本部の活動を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加する決意を述べた。

閉会式では、戦線本部の代表者が、参加者の決意を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加するよう呼びかけた。集会は、熱い雰囲気の中で閉幕した。

労働戦線の更なる構築を

一〇・一八中部地区労働者討論会報告

【本報東京十七日電】労働戦線の更なる構築を目的として、中部地区労働者討論会が十七日午後七時、赤坂区立大ホールで「一〇・一五首都圏反帝戦線総決起集会」を開き、五〇〇名が参加して、激しい討論と演説が行われた。

この集会は、戦線本部の呼びかけで、各界の有志者が大勢参加した。開会式では、戦線本部の代表者が、現在の戦況と今後の闘争の方向性を述べ、参加者から熱い拍手が送られた。

討論では、戦況の激化、戦線本部の活動、各地の闘争の展開などが中心で、参加者は、戦況の激化を憂い、戦線本部の活動を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加する決意を述べた。

閉会式では、戦線本部の代表者が、参加者の決意を高く評価し、今後の闘争に積極的に参加するよう呼びかけた。集会は、熱い雰囲気の中で閉幕した。